

2022 年度 川崎医学会評議員会兼総会議事録

2022 年 7 月 30 日

日時：2022 年 7 月 30 日（土）12:10～12:40

場所：現代医学教育博物館 3 階資料室

1. 会長挨拶（福永会長）

2. 会則（塩谷運営委員長）

現在の諸規定の内容を会則と細則（医学会誌・講演会）に振り分け、諸規定を廃止すること、及び、従来の会則及び、諸規定の内容について以下の変更を加えることが審議・承認された。

第 3 章-第 5 条-第 4 項 追記:会員のうち、本学職員については川崎医科大学退職後は退職者の意向により会員の資格を継続できるものとする。

第 4 章-第 6 条-第 4 項 追記:なお、本条第 1 項から第 3 項及び第 8 項以外の役員の中から会長が委嘱する。

第 4 章-第 6 条-第 6 項 追記:なお、編集委員長は運営委員長が兼任することができるものとする。

第 4 章-第 7 条 修正:その他役員の任期は 2 年とし再任を妨げない。→その他の役員の任期は、西暦奇数年を 1 年目とする 2 年間とし、その再任を妨げない。

第 5 章-第 9 条-第 1 項 追記:なお、会員総会は、共催する川崎医科大学学術集会時に実施する。

第 5 章-第 10 条-第 1 項 追記:なお、評議員会は、共催する川崎医科大学学術集会時に実施する。

第 6 章-第 14 条-第 4 項 追記:毎年 8 月（学術集会開催）以降に入会した会員は、当該年度の年会費を免除する。

第 7 章-第 16 条 追記:機関誌の編集委員会の企画運営については、次のように定める。

1 本会則第 6 条により運営委員長に指名された編集委員長、及び編集委員長が委嘱した編集委員の開催する編集委員会によってその年度の機関誌の編集方針を定める。

2 本事業の事務は、運営委員長又は編集委員長、並びに編集副委員長及び編集委員の指示の下、医大中央教員秘書室の担当者が行う。

3 なお、機関誌に係る上記以外の規程として、投稿規程、印刷出版、配付、経費処理等については、詳細を別に定めるものとする。

第 8 章-第 16 条(第 17 条に変更):学術講演会は運営委員会の下、活動を行い、会員の学術研究の向上、相互研修の目的で、学術講演会を開催する。
※第 1-3 項削除

第 8 章-第 18 条 追記:講演会の企画運営については、次のように定める。

1 本事業を実践するために、医学会の運営委員の中から講演会を担当する運営委員長を 1 名選任する。

2 本条第 1 項で規定した運営委員長を補佐し、本事業を實踐する講演会担当の教員を川崎医科大学及び総合医療センターから 1 名ずつ選任する。

3 本事業の業務は運営委員長及び講演会担当教員の指示の下、医大中央教員秘書室の担当者が行う。

4 なお、講演会・学術集会に係る上記以外の規程として、申込規程、視聴、会計処理等については詳細を別に定めるものとする。

第 9 章-第 17 条→第 19 条に変更

第 10 章-第 18 条→第 20 条に変更

第 11 章-第 19 条→第 21 条に変更

本会則の改定は、総会の承認を要する。

3. 会計（塩谷運営委員長）

（1）2021 年度決算

2021 年度決算について説明され、以下の事項について審議・承認された。機関紙の Web 管理化に伴い印刷費・郵送費は減少したが、Web 管理費は増加した。これは、論文数（和文）の増加や教養編の印刷会社の変更による経費区分の変更が原因であり、実質的に変化が生じた訳ではない。講演会費はコロナ禍での開催回数減少により減少した。2015 年度以降、特別会計を切り崩す形で一般会計への繰入れを行ってきたが、本年度は特別会計の残高は前年度と同じく約 2,000 万円となった。

(2) 会計監査報告 (松本監事)

本年 6 月 9 日 (木) 17 時より本館棟 6 階第 1 カンファレンス室にて松本監事, 西村監事の立ち合いの下, 2021 年度の会計監査を行い, 川崎医学会の活動は会见面から滞りなく適正に処理されていると判断されたことが報告された。

(3) 2022 年度予算案

概ね例年どおりの予算案を組むことが提案され, 以下の事項について審議・承認された。機関紙にかかる経費については, web 管理費とそれ以外の経費との区分を明確にした。数年来の web 化により 600 万円程度かかっていた経費が 200 万円程度にまで削減できた。今年度から導入予定の機関紙投稿・査読システムの開発に 210 万円を計上した。医学会設立 50 周年記念事業への積立金として 150 万円を計上した。

4. 人事 (塩谷運営委員長)

以下の人事が承認された。

評議員【就任】 上原慎也先生, 大石智洋先生, 大野直幹先生, 楠 裕明先生, 黒川勝巳先生, 桑原篤憲先生, 平 成人先生, 土井原博義先生, 仁科惣治先生, 向井知之先生, 山下修二先生

評議員【退任】 石原克彦先生, 川本 豊先生, 紅林淳一先生, 塩田 充先生, 嶋 雄一先生, 白神史雄先生, 日野啓輔先生

5. 機関紙編集委員会 (塩谷編集委員長)

(1) 2021 年度秋季編集委員会

日時: 2021 年 11 月 1 日 (月) 17:00~
刊行状況, 一般教養篇, 投稿規程の追加, 論文作成の講演会, 副賞, 投稿申込書について議論されたことが報告された。

(2) 2021 年春季編集委員会

日時: 2022 年 3 月 17 日(木) 16:00~
論文賞, 副賞の追加, 刊行状況, 査読システム, 冊子体での発刊, 投稿規程の変更, 50 周年アンケートについて議論されたことが報告された。

副賞について: 従来からのクリスタルペーパーウェイトに加えて USB ギフトセット, 及びブルーペ

付きペーパーウェイトを追加することが報告された。

投稿・査読システムについて: 今年度 12 月開始予定で準備が進められていることが報告された。
投稿規定について: 原著論文の抄録を背景・方法・結果などに区分することを求めるように変更することが報告された。

50 周年記念事業アンケートについて: 約半数が記念講演会と寄贈品の両方を希望していること, 6 割を超える会員が記念講演会を一般向けの市民公開形式にすることを希望していること, その他多くのコメントが寄せられたことが報告され, これらを考慮して今後, 長洲委員を中心に議論を重ねていくことが確認された。

6. 機関誌刊行状況 (塩谷編集委員長)

2019, 2020, 2021 年の刊行状況について以下のよう
に報告された。川崎医学会誌 (和文誌): 21, 11, 20 本, Kawasaki Medical Journal (英文誌): 12, 23, 25 本, 一般教養篇: 8, 6, 6 本。2022 年度は現在のところ, 川崎医学会誌に 6 本, Kawasaki Medical Journal に 12 本の論文が査読中を含めて投稿されており, 順調に推移している。

7. 川崎医学会賞 (塩谷運営委員長)

【研究奨励賞】 大学・研究委員会より

伏見佳朗先生

Early combination therapy of empagliflozin and linagliptin exerts beneficial effects on pancreatic β cells in diabetic db/db mice

Scientific Reports. 11(1):16120, 2021

doi: 10.1038/s41598-021-94896-w

【医学会誌論文賞】 医学会・編集委員会より

田所宏章先生

気息性嘔声の治療のためのマウス声門閉鎖不全モデルの検討

川崎医学会誌 47: 147-158, 2020

doi: 10.11482/KMJ-J202147147

近藤 恵先生

Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor linagliptin reduces urinary albumin excretion through the protection of

glomerular endothelial function

Kawasaki Medical Journal 47 : 131-141, 2021

doi : 10.11482/KMJ-E202147131

上記受賞者 3 名の授賞式が行われた。

8. 医学会講演会（長洲委員）

（1）2021 年度実施状況

計 18 回の講演会（学外講演者 2 回，学内講演者 16 回【全て新任教授講演会】）が行われたことが報告された。

（2）2022 年度実施状況及び予定

新型コロナウイルス感染拡大の影響により，2022 年度は現時点で 3 月 24 日と 6 月 22 日に開催された 2 回のみであり，今後の開催予定はないこと，また，新任教授講演会は計 13 回が開催予定であることが報告された。

文責：庶務 橋本